

期日報告書 35

2026年1月8日

函館市 御中

さくら共同法律事務所

弁護士 河 合 弘 之

外 13 名

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ご依頼の相手方国外1名との間の東京地方裁判所平成26年（行ウ）第152号 大間
原子力発電所建設差止等請求事件について、下記のとおりご報告いたします。

敬具

記

1 期日 2025年12月24日（火）10時30分～11時07分頃

東京地方裁判所103号法廷

第35回口頭弁論期日

2 出席者 当方：弁護団10名（河合弘之、海渡雄一、青木秀樹、井戸謙一、只野靖、

兼平史、中野宏典、甫守一樹、大河陽子、北村賢二郎）

相手方（被告ら）：各代理人弁護士ら 出席

3 提出書面

当 方：準備書面（58）（敷地内活断層）

甲D214（電源開発資料・変状）

12月19日付争点項目一覧表改訂版

相手方（被告国）：第29準備書面（水蒸気爆発等（原告準備書面（57）に対する反
論）

乙A266～272

相手方（被告電源開発）：なし

4 口頭説明

原告代理人只野弁護士が、準備書面（５８）（敷地内活断層）の内容を、パワーポイント資料を投影して口頭説明を行いました（約２３分）。

5 争点項目一覧表

原告記載部分の争点項目一覧表の「震源を特定せず策定する地震動」の「具体的理由」の⑤について取り消し線については取り消す。

6 今後の進行

(1) 当方

当方は、次回期日までに、フルモックスの危険性についての準備書面を提出予定です。

(2) 被告国

被告国は、基準の合理性については原告からの主張に対して、随時反論するとのことでした。

7 書面提出期限

書面提出期限は、来年２月２４日（火）になりました。

8 次回期日、次々回期日

次回期日、次々回期日は、次のとおりになりました。

(1) 次回期日

来年（２０２６年）３月９日（月）１４時 弁論期日 @東京地裁１０３法廷

第３６回口頭弁論期日（弁論期日後に進行協議期日を予定）

(2) 次々回期日

同年７月７日（火）１３時３０分 弁論期日 @東京地裁１０３法廷

第３７回口頭弁論期日（弁論期日後に進行協議期日を予定）

以上